



06 甘楽町立甘楽中学校

甘楽町はかつて織田家が小幡藩を治めていた頃の景観を色濃く残し、史跡や文化財が多く残る歴史の息づく町です。

町の将来を担う子どもたちの学習の場は、町の伝統や文化も同時に受け継ぐ場でもあり、学校づくりには町の特徴をふんだんにとり入れる計画を試みました。

福島瓦と呼ばれる地元産瓦を約12万枚使用したほか、町有林を伐採し、内装仕上や家具、建具、下地材にまであますところなく利用する計画としました。

また、敷地内には防災交流センターという災害時には避難所となる施設も併設され、給食センターと連結することで常時は子どもたちのランチルームとして活用できるようにしました。ここに地域住民の心のよりどころとなる新たな学舎が完成したといえます。



1. 翼を広げたような南側全景
2. 社会開放用となる螺旋階段
3. 昇降口と中庭が連続する空間
4. 発表会等に使用するイベント階段
5. 学校全体の空撮

所在地 群馬県甘楽郡
甘楽町

建築主 甘楽町

施工 建築：岩井建設・
タルヤ建設・
中野建業JV
／佐藤産業・
湯川工務店・
内藤建設JV
／塚本建設・
上原建設JV
／岩井建設
電気：コシバ電機
井戸沢電機
湯井電気
成瀬電気工務店
機械：熊井戸工業

延床面積 11,978㎡

構造・規模 RC造 地上3階

竣工 2016年

備考 プロポーザル当選作品

